

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-8 食の安全の確保
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	薬事衛生課長 伊藤 耕	電話番号	0852-22-5257
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	カネミ油症・森永ミルク中毒被害者検診・支援事業		
目的	(1) 対象	カネミ油症患者・森永ミルク中毒認定被害者	
	(2) 意図	認定患者（被害者）に検診や必要な行政サービスの紹介・提供を行う	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・森永ミルク中毒被害者支援協力事業：適正な行政サービスの紹介・提供をするため、森永ミルク中毒認定被害者に対し、（財）ひかり協会と連携して個別対応を検討する。 ・カネミ油症患者追跡調査事業：症状の経過観察をするため、カネミ油症認定患者に対し、全国油症治療班の事業に協力して検診を実施する。 		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	受診率・サービス紹介率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	受診者/受診希望者等×100	目標値		100.00	100.00	
			実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義	受診者/受診希望者等×100	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,309	2,353
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> ・森永ミルク中毒被害者に対する取り組み <ul style="list-style-type: none"> ○被害者救済連絡会議（行政懇談会） 1回 ○山陰地域救済対策委員会 4回 ・カネミ油症患者に対する取り組み <ul style="list-style-type: none"> ○カネミ油症健康実態調査：6名/7名 ○受信者/受信者希望者数：2名/2名
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> ・森永ミルク中毒被害者に対しては、その救済のための事業を行っている（公財）ひかり協会に協力し、被害者救済連絡会議などを通じ、行政が行っている検診事業を紹介し、被害者の受診希望に応えることができた。 ・カネミ油症患者に対しては、国が実施するカネミ油症健康実態調査並びに全国油症治療研究班が行う検診事業を実施し、6名から調査協力をいただいた。受診を希望された全員（2名）に受診していただくことができた。
--

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の所在が把握できない事態の発生。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の加齢により、施設に入所された場合など所在を確認できない事態が生じている。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村と連携した患者のフォローアップが必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> ・適切な健康実態調査並びに検診を行うため、認定患者とは引き続き連絡を取り、常に所在を確認しておく必要がある。また、被害者の加齢等に伴う健康管理や生活相談等に関する総合的な相談活動等の取組を引き続き市町村と連携して行う。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--